

指導班だより



学力向上に向けて

Let's try!

全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。指導班では、この結果を受けて、宮城県の喫緊の課題である「確かな学力の育成」に向けて、昨年度同様に管内の市町や各小中学校で成果をあげている事例について分析し、引き続き各校で確認・取り組んでいただきたいことを「3つのステップ」に分けて提案します。<昨年度のH30年度指導班だよりNO5も併せてご覧下さい。>

【その1】「調査結果の確認・分析・課題の把握」

みんな

- 調査結果を確認する
- 自校の傾向を分析する
※全教師が問題を解いてみる
※令和元年度版全学調「報告書」を活用する
- 自校の課題を明確にする



【その2】「5つの提言の自校化で組織的な授業改善」

日々の授業で

- 提言3の「ねらいを明確に」「まとめ・振り返り」を重視する
※授業に「課題用小黒板」の導入が増え、提言3の自校化が図られています
- 指導上のルール「板書計画・ノート指導・教室掲示等」の見直しをする
※どの教師（教科担任・経験の浅い教師）も迷わず指導できます
※市町毎に作成した「〇〇スタンダード」に沿った学習指導が見られます
- 中学校区等で小・中連携して授業改善に取り組む
※各校の課題や改善策について小・中連携して話し合い、相互授業参観等の取組が見られます。小中合同でB問題を題材にした研究授業も開催されました。

【その3】「宿題・家庭学習の質的向上，読書活動の奨励」

家庭と共に

- 宿題・家庭学習を丁寧に指導する
※単元問題ライブラリーを積極的に活用する
※自主学習は、内容と時間について事前に指導する
- 暗唱や音読，読書活動を奨励する

